

生計同一関係申立書（未支給年金用）

共済組合受付印

① 請求者の住所、氏名

住 所 _____

氏 名 _____

(②との続柄： 夫・妻・子・父母・祖父母・孫・兄弟姉妹・その他の三親等内の親族)

② 受給権者（又は被保険者）であった方の住所（亡くなった当時）、氏名

住 所 _____

氏 名 _____

1. 同居についての申立（住民票上の住所が異なっていた理由）（該当する番号に○をつけてください。）

※ ①と②が同居していたが、住民票上の住所が別になっていた場合に記入

(1) 介護・高齢等のため同居していたが、住民票は移していなかったため。

(2) その他（具体的な理由を記入してください。）

以下の2～4については、①と②が別居していた場合に記入してください。

2. 経済的援助についての申立（該当する項目、番号に○をつけてください。）

※ ①と②が別居していた場合に記入

※ 経済的援助には、生活費・療養費・施設入居費等の現金によるものだけでなく、医療・食事・住宅・日用品・介護用品などの現物による援助も含まれます。

㊦ 経済的援助の有無 （ あり ・ なし ）

⇒ 「あり」の場合 （ ①が②を援助 ・ ②が①を援助 ）

① 上記㊦で「あり」の場合にはその回数 （ 年 ・ 月 約 _____ 回程度 ）

② 上記㊦で「あり」の場合にはその金額 （ 年 ・ 月 約 _____ 円程度 ）

※ ③については、請求者が受給権者であった方の配偶者・子以外の場合に記入

㊧ 経済的援助の内容

(1) 定期的に現金を渡していた。（口座振込・送金・手渡し）

(2) 不定期だが、必要に応じて現金を渡していた。（口座振込・送金・手渡し）

(3) 入院費・施設費などを全額または一部負担していた。

(4) 必要に応じて、現金以外で援助していた。

(5) その他（具体的に記入してください。）

3. 別居していた理由（該当する番号に○をつけてください。）

※ 請求者と亡くなられた方の続柄が配偶者または子の場合で①と②が別居していた場合に記入

- (1) 婚姻したことにより、受給者とは別住所に住んでいたため。
- (2) 単身赴任をしていたため。
- (3) 施設（老人ホームまたはそれに準ずる施設・病院）に入っていたため。
- (4) その他（具体的に記入してください。）

4. 定期的な音信・訪問についての申立（該当する項目、番号に○をつけてください。）

※ 請求者と亡くなられた方の続柄が配偶者または子の場合で①と②が別居していた場合に記入

- ㊦ 音信の手段（訪問・面会・電話・手紙・メール・その他 _____）※複数可
- ㊧ 訪問回数（年・月・週 約 _____ 回程度 ・ なし）
- ㊨ 音信・訪問の内容
 - (1) 日常生活状況の確認・連絡
 - (2) 日常生活の援助
 - (3) 介護のため
 - (4) その他（具体的に記入してください。）

5. 生計同一関係にあったことの申立

私は、上記のとおり上記②の者と生計を同じくしていたことを申し立てます。

全国市町村職員共済組合連合会理事長 様

申立日年月日：令和____年 ____月 ____日 ※ この申立書の記入日を記載してください。

請求者氏名 _____

6. 第三者による証明欄 ※ 生計同一関係証明書類を提出している場合は記入不要です。

上記の内容は、事実に相違ないことを証明します。
また、私は上記①と②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

証明年月日：令和____年 ____月 ____日 ※ 5の申立日（記入日）以後に証明してください。

住 所 _____

氏 名 _____	請求者との関係 または職名 _____
電話番号 _____	

※ 法人（会社、病院、施設等）・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と氏名を記入してください。

※ 第三者とは、民生委員、病院長、施設長、事業主、隣人等をいい、民法上の三親等内の親族は含まれません。
※ 必要に応じて、書類の提出をお願いすることがあります。